

《受検する前に確認しましょう》 評価基準について

作文検定

■ベーシックコース■

幼児・小学校低学年のお子さまへは、保護者・指導者の方からお伝えください。

領域	評価基準	受検者のみなさんへ・・・こんなことに注意しましょう
内容	テーマに沿って書けているか	もんだい文で聞かれたことについて書きましょう。
	自分の気持ち・考えが書けているか	自分の気持ちや考えたことを、1つはかならずとり入れましょう。
	最後まで書ききれたか	さいごまで、あきらめないで書きましょう。
表現	基本的な文法に誤りはないか	伝えたいことがまちがって伝わらないように気をつけましょう。
	文が作れているか	「だれ（何）が」「どうした・どうだ」の通る文を作りましょう。
	五感・オノマトペなどの表現を使っているか	ようすをあらわすことばを、かならず1つはとり入れましょう。
表記 ・条件	初歩的な原稿用紙の使い方ができているか	だんらくの書きはじめは1ます空けましょう。 、や。が行の先頭に来ないように気をつけましょう。
	文字が丁寧に書けているか	文字は読みやすいように、こく、ていねいに書きましょう。
	字数制限を満たしているか (200字以上書ければOK)	200字より多く書けるように、がんばりましょう。 300字を超えないように気をつけましょう。

■アドバンスコース■

領域	評価基準	受検者のみなさんへ・・・こんなことに注意しましょう
内容	テーマに沿って書けているか	問題文をよく読み、何を聞かれているのかとらえましょう。聞かれたことについてののみ、書くように気をつけましょう。
	自分の気持ち・考えが書けているか	自分の気持ちや考えたことを1つでも取り入れましょう。
	伝えたいことが一貫しているか	作文のとちゅうで考えを変えないようにしましょう。作文のテーマに関係のないことを書かないように気をつけましょう。
	文章の流れを工夫できているか	段落のまとまりにも注意しながら、どのような順番で伝えたら相手によりよく伝わるか、工夫しましょう。
表現	文法に誤りはないか	伝えたいことがまちがって伝わらないように気をつけましょう。
	読みやすい文章であるか	文はなるべく短くし、適切に読点を用いて読みやすい文を作りましょう。
	言葉の使い方が適切か	作文にふさわしい言葉を用い、文の終わり方もそろえましょう。 言葉の意味が正しく使えているか、気をつけましょう。
	五感・オノマトペなどの表現を効果的に使っているか	様子を表す言葉を積極的に取り入れ、読み手に伝わるように工夫しましょう。
表記 ・条件	誤字脱字はないか	文字のまちがいや、ぬけに気をつけましょう。
	基本的な原稿用紙の使い方ができているか	段落の書きはじめは、1ます空けましょう。 数字は漢数字で書きましょう。 、や。が行の先頭に来ないように気をつけましょう。
	文字が丁寧に書けているか	文字は読みやすいように、こく、ていねいに書きましょう。
	字数制限を満たしているか	360字より多く（9割以上）書けるように、がんばりましょう。 400字を超えないように注意も必要です。